

展示動物の選定基準

前提

現在の動物園では、「環境教育」と「種の保存」という二つの課題がクローズアップされている。このうち、「環境教育」を実践する上で、動物園は、地球上の多様な自然環境を知り・学ぶ場となることが求められており、そのために次に示すような動物展示や展示動物の構成を行うことを、本計画地においても実践することが求められる。

- ・自然環境のすばらしさや驚きを肌で感じ実感することにより、環境を認知する力を養う。そのために、展示では「自然そのまま」の環境演出を行うことが必要であり、この考え方を進めるために、展示のゾーンは生息地（ハビタート）別に空間を区切る構成を行う。
- ・環境の多様性や動物と自然の関係を理解するために、動物と動物、動物と植物など、動物とその周辺環境とのかかわりが理解できる様、生息地と動物の関係が明確に理解しやすいゾーン構成を行う。
- ・種の保存に配慮し、繁殖可能な動物点数、構成を飼育するとともに、展示施設の整備にも反映させる。

動物の選定基準

展示動物の選定では、野生動物を取り巻く社会情勢や展示に関するコンセプトなどを考慮し、動物の健康やゆとりのある飼育環境を実現するため、次に示す基準を設定する。

また、この選定基準に従い現在到津遊園で飼育されている種を前提に動物を選定すると右表のようになり、このリストを原則として今後の計画を進めることが望まれる。

- ・展示テーマに合致する種を優先して選定する。
- ・動物と環境とのかかわりを説明することができる、特有の生活形や形態を持つ種を優先して選定する。
- ・現況の動物リストを基準に選定する。
- ・親善動物（セイロンゾウ、フランソアルトン、レッサーパンダ）は残す。
- ・ひびき動物ワールドとの役割分担を考慮する。
- ・市民意見調査の結果を踏まえ、知名度、人気の高い動物は、極力残す。

展示動物種リスト（案）

	ゾーン	目	科	種
郷土の動物ゾーン	郷土の水辺	コウノトリ カモ キジ ツル	コウノトリ カモ キジ ツル	コウノトリ類、トキ類 カモ類 キジ類 ツル類
	郷土の森林	サル ネズミ ネコ " ウサギ ウシ フクロウ	オナガザル リス イヌ イタチ ウサギ イノシシ フクロウ	ニホンザル〔4位〕 ムササビ タヌキ テン キュウシュウノウサギ ニホンイノシシ フクロウ
世界の動物ゾーン	樹冠の世界	サル " "	オナガザル " テナガザル	フランソアルトン〔4位〕 アンゴラコロプス〔4位〕 テナガザル類〔4位〕
		インコ ブッポウソウ キツツキ トカゲ	インコ サイチョウ オオハシ イグアナ	インコ類 サイチョウ類 オオハシ類 グリーンイグアナ
		サル " " " ネコ ゾウ	オナガザル " ショウジョウ キツネザル ネコ ゾウ	ブタオザル〔4位〕 カニクイザル〔4位〕 チンパンジー〔4位〕 キツネザル類〔4位〕 トラ〔5位〕 セイロンゾウ〔1位〕 小型哺乳類
	草原の世界	サル " ネコ " ウマ ウシ ダチョウ フラミンゴ	オナガザル " マンゲース ネコ ウマ キリン ダチョウ フラミンゴ	バタスモンキー〔4位〕 マンドリル〔4位〕 ミーアキャット ライオン〔3位〕 チャップマンシマウマ アミメキリン〔2位〕 ダチョウ フラミンゴ
ふれあい動物園ゾーン	ネズミ ネコ " ウサギ ウマ ウシ "	ネズミ パンダ アライグマ ウサギ ウマ ラクダ ウシ " カモ キジ " インコ	ネズミ パンダ アライグマ ウサギ ウマ ラクダ ウシ " カモ キジ " インコ	ネズミ類 レッサーパンダ アライグマ ウサギ類 ロバ フタコブラクダ ヤギ（雑） アヒル（雑） ウズラ シチメンチョウ インコ類

分類は到津遊園飼育動物一覧表による。
〔 〕内は市民意見調査による順位（5位まで）を表す。